

『計量国語学』アーカイブ

ID	KK290102
種別	ノート
タイトル	外来語の語形のゆれ—チックとティック—
Title	Fluctuation of Forms of Japanese Loan Words: “-chikku”and “-tikku”
著者	荻野 綱男
Author	OGINO, Tsunao
掲載号	29巻1号
発行日	2013年6月25日
開始ページ	34
終了ページ	39
著作権者	計量国語学会

ノート

外来語の語形のゆれ

—チックとティック—

荻野 綱男 (日本大学)

要旨

日本語の「ゆれ」の一つに、英語の「-tic」を外来語として受け入れる際に「-チック」とするか「-ティック」とするかということがある。検索エンジンを使って WWW を検索すると、ヒット件数がそれぞれの語形の出現頻度に近くなり、手軽に使用状況が把握できる。調査結果からは、「-tic」のゆれが 3 段階の過程を経ていることがうかがえた。第 1 段階は「-チック」で受け入れた古い段階、第 2 段階は「-ティック」で受け入れた新しい段階、そして第 3 段階は、日本語の中で「-チック」が接尾辞として確立し、英語起源でない語にまで使われるようになった段階である。

キーワード：ゆれ、検索エンジン、WWW、-チック、-ティック

1. 問題の発端

英語からの外来語では、-tic の語尾が「チック」と表記される場合と、「ティック」と表記される場合がある。この「ゆれ」は何の規則もない単純なゆれなのだろうか、それとも、何か規則性・傾向性があり、これこれの場合はこちらを使うというようなことがあるのだろうか。

2. WWW の調査方法

考えられるたくさんの単語について、「チック」で終わる場合と「ティック」で終わる場合がそれぞれ何例ずつあるのか、goo のウェブ検索で検索した。goo の検索エンジンを利用した理由は、Google や Yahoo! よりも、goo のほうが、返されるヒット件数が安定しているためである。

ここで示す結果は 2012 年 12 月 12 日から 2013 年 1 月 16 日にかけて収集したものである。

「チック」か「ティック」で終わるたくさんの単語をリストアップする場合、電子辞書あるいはネット上の国語辞書の「後方一致検索」機能を利用するのが便利である。

3. WWW の調査結果

「チック」の比率（パーセンテージ）を

$$(\text{チックの件数}) \div \{(\text{チックの件数}) + (\text{ティックの件数})\} \times 100$$

で求める。

チックの比率順に（高い方から）語形を並べ替えたのが以下のリストである¹。

-チック の形式	-チックの ヒット件数	-ティックの ヒット件数	-チック の比率	意味の注記
レトロチック	約 28,600 件	約 271 件	99.1%	《懐古的であるさま》
メルヘンチック	約 83,200 件	約 2,260 件	97.4%	
エキゾチック	約 672,000 件	約 33,600 件	95.2%	
インスタマチック	約 1,710 件	約 97 件	94.6%	《コダックのフィルム規格》
プラスチック	約 5,920,000 件	約 527,000 件	91.8%	
オートマチック	約 548,000 件	約 194,000 件	73.9%	
クロマチック	約 83,100 件	約 29,700 件	73.7%	《音楽で、半音階的》
アスレチック	約 443,000 件	約 174,000 件	71.8%	
パンクロマチック	約 1,460 件	約 735 件	66.5%	《全整色性フィルム》
プログラマチック	約 899 件	約 491 件	64.7%	
スメクチック	約 1,860 件	約 1,050 件	63.9%	《液晶の状態の一種》
ロマンチック	約 1,450,000 件	約 1,020,000 件	58.7%	
ネマチック	約 3,630 件	約 2,650 件	57.8%	《糸状・線状の意》
ドラマチック	約 631,000 件	約 474,000 件	57.1%	
ペダンチック	約 2,290 件	約 2,190 件	51.1%	《知識をひけらかすさま》
アンチマグネチック	約 209 件	約 228 件	47.8%	《耐磁》
システムマチック	約 38,200 件	約 56,900 件	40.2%	
テーマチック	約 107 件	約 173 件	38.2%	
トラウマチック	約 3,340 件	約 6,900 件	32.6%	《精神的外傷を与える》
ドグマチック	約 323 件	約 684 件	32.1%	《独断的. 教条的》
オペラチック	約 2,340 件	約 5,290 件	30.7%	
エロチック	約 151,000 件	約 457,000 件	24.8%	
マグネチック	約 22,700 件	約 72,900 件	23.7%	
ロフトアチック	約 18 件	約 104 件	15.8%	《中二階》
ラスチック	約 9,880 件	約 61,400 件	13.9%	《田舎風の, 田園生活の》
イデオマチック	約 29 件	約 209 件	12.2%	《慣用的な》
カリスマチック	約 539 件	約 3,940 件	12.1%	
スケプチック	約 87 件	約 663 件	11.6%	《懐疑的なさま》
ニューロチック	約 229 件	約 2,050 件	10.0%	《神経症的であるさま》
シネマチック	約 4,910 件	約 49,700 件	9.0%	
プラグマチック	約 647 件	約 6,760 件	8.7%	《実利的. 実際の》

1 ここでの表をヒット件数が高いもの・低いものに分けて示すことも考えられるが、どこで区切るべきか何ともいいにくいこと、検索エンジンのヒット件数は、正確で再現性があるものでもなく、時としてかなりの幅でゆれを示してしまうことなどの事情を考慮し、ここでは単純な「-チックの比率」順に示すことにした。

エゴイスチック	約 1,970 件	約 21,600 件	8.4%
アロマチック	約 6,280 件	約 89,300 件	7.1%
アクロバチック	約 12,700 件	約 186,000 件	6.4% 《曲芸のようであるさま》
ドラスチック	約 3,640 件	約 54,100 件	6.3% 《過激》
コスメチック	約 45,000 件	約 753,000 件	5.6% 《化粧品. うわべだけの》
アニマチック	約 49 件	約 797 件	5.6%
ヘテロチック	約 8 件	約 152 件	5.0% 《弦理論の一種》
デモクラチック	約 180 件	約 4,220 件	4.1%
オカルチック	約 609 件	約 14,100 件	4.1% 《神秘の. 超自然的な》
アスタチック	約 18 件	約 571 件	3.3% 《不安定な》
ダイアレクチック	約 5 件	約 152 件	3.2% 《弁証法》
タクチック	約 129 件	約 4,790 件	2.6% 《戦法》
エラスチック	約 1,600 件	約 67,400 件	2.4% 《伸び縮みする布地》
アニミスチック	約 10 件	約 409 件	2.4% 《精霊崇拜的な》
アンタークチック	約 24 件	約 1,040 件	2.3% 《南極の, 南極地方の》
アリストクラチック	約 4 件	約 179 件	2.2% 《貴族的》
ナショナリスチック	約 47 件	約 2,630 件	1.8% 《民族主義的》
ペシミスチック	約 124 件	約 7,240 件	1.7% 《悲観的なさま》
ヒューマニスチック	約 41 件	約 2,750 件	1.5% 《人道的》
パセチック	約 31 件	約 2,050 件	1.5% 《哀れをさそうさま》
ニヒリスチック	約 39 件	約 2,640 件	1.5% 《虚無的. 虚無主義的》
ジャーナリスチック	約 122 件	約 8,160 件	1.5% 《時流に敏感なさま》
ダダイスチック	約 2 件	約 156 件	1.3%
エラチック	約 11 件	約 920 件	1.2% 《とっぴな》
ヘルメンマロンチック	約 5 件	約 483 件	1.0%
ナルシシスチック	約 4 件	約 402 件	1.0%
クリチック	約 94 件	約 9,320 件	1.0% 《批評家, 批判者》
ディプロマチック	約 27 件	約 2,950 件	0.9% 《外交的な》
ポエチック	約 127 件	約 16,200 件	0.7% 《詩的な, 詩的情緒豊かな》
ファンタスチック	約 3,260 件	約 483,000 件	0.7% 《非常にすばらしいさま》
エンスージアスチック	約 2 件	約 300 件	0.7% 《熱狂的な》
リアリスチック	約 199 件	約 31,700 件	0.6% 《現実主義的. 現実的》
マゾヒスチック	約 88 件	約 15,500 件	0.6% 《被虐的》
ファナチック	約 306 件	約 57,000 件	0.5% 《熱狂的なさま. 狂信的》
ホメオチック	約 85 件	約 22,300 件	0.4% 《遺伝子の突然変異》
スタチック	約 429 件	約 112,000 件	0.4% 《静止しているさま. 静的》
シンプレクチック	約 14 件	約 3,890 件	0.4% 《幾何学の一種》
アーティスチック	約 866 件	約 238,000 件	0.4% 《芸術の, 芸術的な》
アークチック	約 257 件	約 69,000 件	0.4% 《北極の, 北極地方の》
プリズマチック	約 84 件	約 26,800 件	0.3%

フォネチック	約 6 件	約 1,940 件	0.3%	《音声の、通話表》
ドメスチック	約 797 件	約 265,000 件	0.3%	
ラクチック	約 32 件	約 13,100 件	0.2%	《乳の》
ルナチック	約 213 件	約 291,000 件	0.1%	《精神異常の》
モラリスチック	約 1 件	約 685 件	0.1%	《教訓的. 道德主義の》
マクロピオチック	約 269 件	約 400,000 件	0.1%	《長寿法》
シナジェスチック	約 1 件	約 1,440 件	0.1%	《共働作用の. 相助作用の》
サディスチック	約 458 件	約 442,000 件	0.1%	《残酷なことを好むさま》
カイロプラチック	約 55 件	約 58,400 件	0.1%	
オーセンチック	約 337 件	約 319,000 件	0.1%	《正統的であるさま》
エステチック	約 376 件	約 680,000 件	0.1%	
アコースチック	約 1,530 件	約 2,410,000 件	0.1%	
ミスチック	約 96 件	約 592,000 件	0.0%	《神秘的であるさま》
ホリスチック	約 38 件	約 299,000 件	0.0%	《全体的. 包括的》
ギャラクチック	約 13 件	約 132,000 件	0.0%	《大星雲の》

4. 調査結果からいえること

[1] ヒット件数が少ないものは、日本語として十分に熟していない、十分に日本語に入りきっていない外来語と考えられる。ヒット件数が小さいということは、用例が確実でないということにもつながり、上に示した結果のリストから外してもいいかもしれない。

[2] 古く入った外来語は「-チック」、新しく入ってきた外来語は「-ティック」が付く傾向がある。だいたい耳で聞いてわかるような単語は「-チック」、意味がわかりにくいものは（最近入ってきた外来語なので）「-ティック」の傾向がある。

[3] 古 = 「-チック」、新 = 「-ティック」の傾向性の「例外」もあるが、それぞれ説明は可能である。

[3-1] 「レトロチック」は、後世の造語である。

乙女チック、漫画チック、おじさんチックなどのように、最近は「-チック」という言い方が日本語の中で浸透しつつある。

「レトロ」は、retrospective（回顧）の略語である。略語の意味がわかるということは、外国語的なニュアンスがなく、外来語として日本語に定着していることを意味する。つまり、これは英語からの外来語を（-tic が付く形で）受け入れたのではなく、日本語の中で変遷した（略された）後に「チック」が付加されたものである。

[3-2] 「メルヘン」はドイツ語からの外来語である。

「英語からの外来語のリスト」に入れるのは不適當であろう。

英語にない「メルヘンチック」が日本語にあるということで、これも、「外来語」とい

2 「-チック」は、日本語の中でつくられた語尾と捉えるべきだが、そうすると、英単語をカタカナ表記するための外来語表記とは完全に分けて扱うことも考えられる。しかし、ここではそうはしなかった。一つには、「-チック」または「-ティック」が付く外来語という基準で、いわば網を張ってたくさんの単語をすくい上げる際に、先に分析を加えてしまうのはよろしくなく、網ですくわれた単語全体を分類・整理する中で、あとから、性質の異なるものを区別していくほうが研究の枠組みとして妥当であるということ

うよりは日本での造語と考えるべきである²。

[3-3]「インスタマチック」は、商標に準じるものなので、表記は固定的なのではないか。

これらのことを総合すると、「-チック」と「-ティック」に関しては、3段階の変遷過程を考えることができよう。

第1段階は、古い時期（おそらく明治～大正～戦前ころ）に「-tic」の付いた形で日本語に入ってきたもので、「-チック」という形になった。

第2段階は、新しい時期（おそらく、英語からの外来語が大量に流入してきた戦後の時期）に「-tic」の付いた形で日本語に入ってきたもので、日本人の英語的発音が上手になったこともあって「-ティック」という形になった。この流入は現在も継続している。

第3段階では、「-チック」という接尾辞が日本語の中で定着してきて、さまざまな語（英語起源の語に限らない）に使われ、新しいニュアンスの語を派生させるようになった。

現状は、これら三つの段階の語が渾然一体として使われていると考えられる。しかし、大量の用例に基づいて分析すれば、三つの段階が区別できる可能性がある（いつもできるとは限らないが）。

5. 今後の予定

「-チック」と「-ティック」の意味の違いを調べる必要がある。日本語への流入の時期の違いなどが「意味の違い」として現れることもあるのではないか。

たとえば、チックの比率71.8%の「アスレチック」と「アスレティック」では意味が違うのではないか。前者は「フィールドアスレチック」を指す場合が多く、後者は「アスレティッククラブ」や「アスレティックトレーナー」など運動関連を指す場合が多い。

このあたりについても網羅的に作業を進めつつあるが、けっこう個々の用例ごとの意味分類がむずかしく、進行状況ははかばかしくない。

なお、本稿で述べた3段階の変遷過程を実証するためには、個々の外来語の「日本語への流入の時期」について明らかにすることも考えられる。ただし、この方法は、本稿で述べた調査方法とはまったく異なってしまふ。歴史的な（近現代語の）コーパスを利用する方法も考えられるが、WWWに相当するような大量のコーパスの蓄積はない。以前に刊行された国語辞典の見出しの採用状況などを調べることも考えられるが、「チック」が付く語が、それが付かない語から派生した語だと考えられて、見出し語として採用されないこともあった可能性があると考ええると、この方法も妥当性に疑問が付く。というわけで、こちらの方向は別の研究になってしまふと考えられる。

(2013年4月28日受付)

がある。また、もう一つには、今回はそこまで分析しなかったが、英語の中で「-tic」が付いてから日本語に入ってきたのか、日本語に入ったあとで「-チック」が付いたのか、区別しにくいものがあるかもしれない。英語の「-tic」のカタカナ表記だと考えられるものの中に、日本語の「-チック」がいくぶんか混じっている可能性があるということである。これを識別するのはきわめて困難なので、ここでは全体をひとしなみに扱うことにした。

Note

Fluctuation of Forms of Japanese Loan Words:

“-*chikku*” and “-*tikku*”

OGINO Tsunao (Nihon University, College of Humanities and Sciences)

Abstract:

We can find a lot of fluctuation of wordforms in Japanese language. One of such examples is “-*chikku*” and “-*tikku*” which stand for “-tic” in English. Using search engine for WWW, we can get hit counts, which is resumed to be numbers of frequencies of each wordform. The results showed that the fluctuation was caused by three different steps of inflow. The first step was done in an old period when Japanese accepted “-tic” as “-*chikku*”. The second step was done in a new period when Japanese accepted “-tic” as “-*tikku*”. And the third step was done in recent years when Japanese suffix “-*chikku*” was established and used to some words without English origins.

Keywords: fluctuation, search engine, WWW, -tic